

みちの郷土史料館
第八十六回企画展

旅木屋瀬

さまざまな
休泊者たち



2022年

10 / 29 (土) ~ 12 / 18 (日)

【会場】北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館 みちの郷土史料館 企画展示室

【開館時間】9:00 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

【休館日】毎週月曜日

【入館料】一般240円 高校生120円 小中学生60円 小学生未満無料 (11月13日、12月11日は小中学生無料)

【主催】北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館・同運営協議会

【関連事業】第28回筑前木屋瀬宿場まつり 11月6日(日) 10:00 ~ 16:00

※開館時間は変更となる場合がございますので、あらかじめ当館ホームページの「イベント・最新情報」をご確認ください。

<<https://koyanose.jp>>

 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬3丁目16-26 TEL 093-619-1149 FAX 093-617-4949

長崎街道とは、起点である小倉常盤橋から長崎までの228kmの道のことを指し、九州唯一の脇街道です。長く鎖国体制を敷いていた日本で唯一、ヨーロッパとの文化交流と貿易港が開かれていた長崎から江戸をつなげる重要な役割を持つ街道でもありました。

1615年に武家諸法度で大名の参勤交代が義務付けられたことから交通整備が本格化すると有名な東海道などを含んだ「五街道」が整備され、次に長崎街道などの幕府にとって重要な街道が次々に整備されました。また、各街道には休憩・宿泊のための宿駅が設置され、交通量の多い街道沿いの宿駅は、次第に大きな町として栄えていきました。

木屋瀬宿は、筑前国の宿場町の中でも非常に交通量の多い宿場町であったため、木屋瀬に訪れた歴史上の有名な人物は少なくありません。長崎奉行などの役人や、オランダ商館に駐在している外国人、参勤交代のために通った九州西半の大名や、学者、文人、将軍への献上品である白象などの動物も木屋瀬宿を通過し、長崎・江戸を目指しました。



筑前名所図会 巻之六 鞍手郡 (挿絵: 木屋瀬宿)
所蔵: 福岡市博物館

本展は、そんな長崎街道の宿場町である木屋瀬宿に宿泊・休憩・通過した多くの人物、または動物について、紀行文や絵図を用いたパネル展示で紹介する企画展です。当時の旅人の気分になって本展を見学してみたいはいかがでしょうか。

代表的な休泊者たち



伊能忠敬像
所蔵: 伊能忠敬記念館



飯尾宗祇馬上図
所蔵: 北九州市立自然史・歴史博物館



坂本龍馬像
所蔵: 国立国会図書館「近代日本人の肖像」

木屋瀬宿は、参勤交代の制度が整う以前から宿場町として機能していたこともあり、非常に多くの人、物、文化が町を行き交いました。その中の代表的な休泊者といえば、上記の伊能忠敬、飯尾宗祇、坂本龍馬などです。また、オランダ商館カピタン一行の江戸参府などに街道が使用されていたことから、当時は珍しかった外国人も多く通過しました。さらに人だけでなく、吉宗公へ献上されたベトナム産の象なども木屋瀬宿に宿泊したことが記録に残っています。



交通アクセス

- 筑豊電鉄「木屋瀬駅」下車 徒歩5分
- JR 筑豊本線（福北ゆたか線）「筑前楠木駅」下車 徒歩15分
- 九州自動車道「八幡I.C」から車で10分
- 北九州都市高速「馬場山ランプ」から車で10分

 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬 3丁目16-26
TEL 093-619-1149 FAX 093-617-4949 <https://koyanose.jp>



さまざま
な
休泊者たち

